

札幌社保協 FAXニュース

2013年 1月4日(金)
社保協事務局 発行
TEL823-0867 Fax821-3701
E-mail:s-syaho@kin-ikyo.or.jp
http://www.sapporo-syahokyo.jp/

国保・介護・後期
高齢者110番は
1/31(木)です

社会保障 憲法25条～国の責任を明確に！

「社会保障制度改革国民会議」は民自公3党によって設置され、社会保障を「自助の補完」とする自民党の基本理念をベースにした社会保障切り捨てを進めようとしています。すでに年金は先の国会で今年10月から3年間で2.5%削減を決めました。医療・介護は「保険の適用範囲」を縮小することが議題の中心となっており、生活保護の切り下げは自民党の政権公約にも入っていました。しかし、今年の参院選挙を意識して、70～74歳の医療費2割負担、高校授業料無償化への所得制限導入などは2014年以降に先送りしようとしています。今年も参院選挙も見据えながら、憲法25条に基づく社会保障を守り国の責任を明確にしたいです。



保育連 市の責任で良い保育を 市交渉

札幌保育連の市交渉が12/14に行われ、保育労働者・保護者など130人以上が参加しました。

市は「子ども・子育て関連法」について児童福祉法による市町村の義務が残ったことは確認しましたが、保育拡充に消費税増税があてられることを評価するような発言もありました。

●栄養士がいる保育園への調理業務委託→(市)管理者がきちんと管理したら自園での調理と同様にできると判断した、政令市の

多くが実施、選択肢を広げた。●面積基準を開設時5㎡～3.3㎡にした→(市)設置認可は5㎡だったが国の基準は1.65㎡になっており運営上では広がっている、など保育連が反対してきた変更については正当性を主張。

●延長保育の乳児加算、宗教食もアレルギー食と同じように加算をの要求には、新たな補助金を設けるのは難しい、国へ運営費の基準を上げるように要求している。●職員の低い給与や待遇と保育士確保が厳しくなっている実態について、「勤務が大変な割に給料が安く改善必要」と認めながら国の責任と言うだけで、参加者から「保育士がいないのは大変ということが感じられない」と指摘されました。

区長へ生保・国保・介護等の要望書を提出 北区

12/20北区社保協・北区住みよくなる会などの区長交渉(要望書提出)が行われ、札幌北・石狩健康友の会、ぽぷらクリニック、北在宅センター、ひまわり薬局他4団体17人が参加、北区側から北区長他9人が出席しました。

北区社保協では生活保護、国保、介護保険、自立支援法、特定健診等についての改善要望を提出。北在宅センターからは新たに始まった2つのサービスの問題点、訪問介護の時間短縮によって利用者も事業者も大変になっている実態が紹介されました。



市住家賃減免改悪～市長参加で議会委員会開催を

12/26道生連・札幌社保協・共産党札幌委員会の3者は、市住家賃減免改悪反対陳情が議会で継続審議となったため、市長あてに要望書を提出しました。

①市長参加で改めて市議会建設委員会を開催すること、②正式に決まってから周知期間(1年程度)を充分にとってから実施すること、を要求し減免改悪反対署名を301筆提出(合計10341)しました。対応した浦屋住宅担当部長は市長に伝えることと、入居者向けの市住ニュースでも「見直し案が決まったことのように紹介しない」と回答しました。



加入団体・関係者各位へ 2013年もよろしくお願ひします